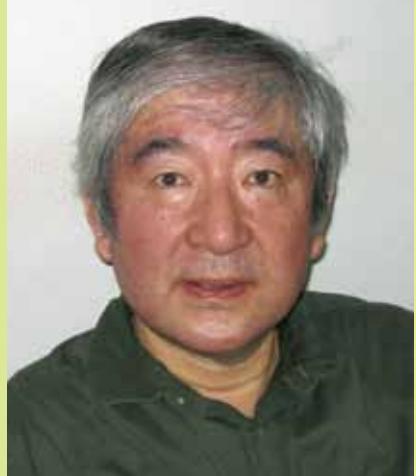




新潟国際情報大学 開学20周年記念
情報文化学部情報文化学科 学術シンポジウム

21世紀 東アジア <共生>の条件 ～「格差」と「差別」を越えて～

今日、世界中でさまざまな「格差」と「差別」が顕在化している。東アジア地域でも、近代の植民地主義に起因する国家間格差や経済のグローバル化による新たな国内格差など、格差問題は平和を脅かす大きな要因となっている。本シンポジウムでは、本学提携大学を中心とした海外の研究者を迎える、国際的な内海に開かれた新潟の地から、21世紀東アジア<共生>の条件を探りたい。



基調講演

酒井 直樹 氏

「21世紀東アジア<共生>の条件」10:50~12:00

コーネル大学ゴールドワイン・スマス記念基金教授。1946年神奈川県生まれ。

1971年東京大学文学部卒業。1983年シカゴ大学大学院博士号取得。

多言語シリーズ『トレイシーズ』初代編集長。

主著に、『死産される日本語・日本人「日本」の歴史-地政的配置』(新曜社, 1996年)、

Translation and Subjectivity (University of Minnesota Press, 1998),

『日本思想という問題 翻訳と主体』(岩波モダンクラシックス, 2007年)など。

参加無料
先着100名

2013年11月3日(日)
10:30~18:30

ANAクラウンプラザホテル新潟
(3F飛翔の間)

新潟市中央区万代5-11-20



セッションI:グローバルな「格差」と「差別」の諸相と展望 13:00~15:30

セッションII:境界=海を越える<共生>の試み 15:45~18:15

21世紀 東アジア〈共生〉の条件 プログラム

～「格差」と「差別」を越えて～

総合司会:松尾 瑞穂(新潟国際情報大学准教授)

10:30 開会 あいさつ 佐々木 寛(新潟国際情報大学 情報文化学科長)

基調講演

10:50~12:00

酒井 直樹 「21世紀東アジア〈共生〉の条件」

<休憩> 12:00~13:00

セッションI : グローバルな「格差」と「差別」の諸相と展望

13:00~15:30

司 会: 小澤 治子(新潟国際情報大学教授)

報告①: A・シュヌルコ(極東連邦大学教授 社会学)「ロシアの格差・人権問題」

報告②: G・マコーマック(オーストラリア国立大学教授 日本研究)「東シナ海から見た東アジア転換期」

報告③: 高橋 正樹(新潟国際情報大学教授 国際政治学)「東南アジア社会の格差問題と民主化への壁」

討論①: 酒井 直樹(コーネル大学教授 日本政治思想史)

討論②: 佐々木 寛(新潟国際情報大学教授 国際政治学・平和研究)

<休憩> 15:30~15:45

セッションII: 境界=海を越える〈共生〉の試み

15:45~18:15

司 会: 區 建英(新潟国際情報大学教授)

報告①: 唐 利国(北京師範大学副教授 歴史学)「中国の格差問題を越える歴史的な知恵」

報告②: 趙 顯龍(慶熙大学教授 言語学)「疎通のための文化教育」

報告③: 神長 英輔(新潟国際情報大学准教授 歴史学)「生活文化圏としての環日本海」

討論①: 徐 勝(立命館大学特任教授 比較人権法)

討論②: 越智 敏夫(新潟国際情報大学教授 政治学)

(敬称略)

※報告は日本語で行います。

【申込方法】

電話、FAX、メールにて、①氏名、②電話番号、「21世紀東アジア」(メールの場合はタイトルにしてください)と明記のうえ、下記連絡先にお申し込みください。

FAXでお申し込みの場合は、こちらにご記入のうえ025-239-3690までお送りください。

申込書	カナ お名前	電話番号
		—